

「基本理念」「各主体の役割」「取組・推進体制」検討資料

検討の視点（審議会でのおもな意見）		答申の内容（案）
基本理念	男女共同参画等 I 根強い性差別・性別役割分担意識の解消が必要 II 若い女性、家事を担う女性が住みやすい町と感じてもらうことが重要 I 社会参画のためのクオータ制が必要 I 女性のキャリア構築に望ましい子育て環境が必要 I 人間として等しく活躍・参加できる地域社会が重要 I LGBT リテラシーの向上が必要 I SOGI の教育が必要 I 児童・生徒の性的マイノリティ対応が必要 I 性的マイノリティ障害者など複合差別への理解が必要	○性別、性自認や性的指向の違いに関わらず、全ての人は自己表現でき、意欲に応じて責任を分かち合いながら安心して個性や能力を発揮できること。
	多文化共生 II 多文化共生、年齢・世代は町会が直面している課題 II 外国人が情報を得る難しさを解消することが必要 II 多文化共創にして「創る」イメージが必要 II ヘイトスピーチ禁止によるレイシズムの抑止が必要 II 多文化は「共生」より「共創」の方向性が必要 II 多文化は、日常的な市民の努力が必要 I コミュニケーションの難しさの克服が必要	○国籍等の違いに関わらず、全ての人は互いの文化的背景や価値観を認め合い、対等な関係を築きながら安心して個性や能力を発揮できること。
	年齢・世代 II 子育て方法も親と子で違う I 経験や技術を生かす場づくりが必要 I 若者と高齢者が交流する場が必要 I 地域・学校・企業の連携が必要	○年齢や世代に関わらず、全ての人は互いの価値観や考え方を認め合い、地域での交流を通じて安心して個性や能力を発揮できること。
	障害 I 支援者・被支援者の壁、あらゆる社会的障壁の解消 II 障害者の生活に独特な部分があることの理解 II 障害がある・障害を持つ、と考えるのではなく、「障害は社会が生み出している」と考えることが必要 II 障害を「医療モデル」ではなく、周りの人が助けることで解決する「社会モデル」としてを考えることが必要 I ジェンダー平等の視点が重要 I 社会が作る障害をウォッチするしくみづくりが必要	○障害の有無に関わらず、全ての人は社会的障壁を感じることなく、互いに支え 合いながら安心して個性や能力を発揮できること。
《第3回で重点的に議論》 各主体の役割	《区（行政）の役割》 II 男女共同参画事業の見直しと取組みのパワーアップが必要 II 制度の実効性を確保するため、継続的にウォッチしていくシステムが必要 II イベントなどの広報が重要 II 継続的に制度をウォッチするしくみが必要 《区民の役割》 II 日常生活での人権を意識の向上が必要 《事業者の役割》	
《第3回で重点的に議論》 取組・推進体制	II 男女共同参画における男性支援が必要 I 世代を問わないコミュニティづくりが必要 I SNSをきっかけとした交流の場が必要 I ジェンダー認識の世代間格差をなくすことが重要 I SNS活用による障害者を理解するための場が必要 I 文化を理解し合う接点としての場が必要 I 技術などをきっかけにした世代交流の試みを検討 I 若者と高齢者の交流する場が必要 I お互いを知り、理解する場が必要 II 「知らない」ために生まれる差別や偏見をなくすことが重要 I やさしい日本語など情報へのアクセス向上が重要 I 文化を理解し合う接点としての場が重要 II 日本語を学べる環境が必要 II 外国人にとって窓口となる日本語ボランティアは重要 I 外国人と学校・保育園の交流も検討 I 外国人に対する高い雇用ニーズがあることの理解 I 外国人の性マイノリティなど複合差別の理解が必要 II 人口減少下での女性活躍、外国人活躍が重要 II 表彰制度や優遇制度など意識向上策の検討	